

## 初版第2刷時の変更点

弊社刊行の『四訂 介護支援専門員のためのケアプラン作成事例集』につきまして、本書の特長でもあるアセスメントとケアプランの連動を表す番号(例. 2-a)を、読者の方々の利便性に鑑みまして、このたび初版第2刷の増刷時に、大幅に追加をいたしました。また合わせて、内容の見直しも一部行っております。初版と初版第2刷の変更点につきましては、以下の表をご参照ください。

(2016年7月28日更新)

該当頁	該当箇所	初版 (2015年10月20日発行)	初版第2刷 (2016年7月20日発行)
42頁	見通し※5欄	買い物や掃除など、 <b>苦手な</b> 部分を他者に援助してもらいながら生活していることを意識してもらうことで、	買い物や掃除など、 <b>難しい</b> 部分を他者に援助してもらいながら生活していることを意識してもらうことで、
59頁	下4行目 (ADL欄)	移乗：ゆっくりと自力で行えるが、視力の低下があり、移乗したい場所にスムーズに行けないことがある。	移乗：ゆっくりと自力で行えるが、視力の低下があり、移乗したい場所にスムーズに行けないことがある。 <b>3a1</b>
60頁	下6行目 (コミュニケーション能力欄)	ワンタッチ式の携帯電話を持っており、登録してある相手にかけることはできる。ただし、間違ってしまうことも多い。	ワンタッチ式の携帯電話を持っており、登録してある相手にかけることはできる。ただし、間違ってしまうことも多い。 <b>1a1</b>
60頁	下1行目 (社会との関わり欄)	同世代の近所の人とは、週末に行きつけの居酒屋に連れて行ってもらうなどの交流もある。 <b>1b1</b>	同世代の近所の人とは、週末に行きつけの居酒屋に連れて行ってもらうなどの交流もある。 <b>1b1 3a1</b>
61頁	5行目 (排尿・排便欄)	排便については内服薬でコントロールをしているが、思うようにコントロールができないときは感情的になり、自分で排便をしてしまうことがある。 <b>1a2 2a1</b>	排便については内服薬でコントロールをしているが、思うようにコントロールができないときは感情的になり、自分で排便をしてしまうことがある。 <b>1a2 1c1 2a1</b>
89頁	下19行目 (生活状況家族状況欄)	次女:既婚・子2人(高校生)、市内在住。 <b>2a2</b>	次女:既婚・子2人(高校生)、市内在住。
89頁	下6行目	本人:孫の誕生日があるから退院したい。自分で移動したいが看護師に怒られるからね。家に帰れば動けると思う。帰って一杯やりたい。	本人:孫の誕生日があるから退院したい。自分で移動したいが看護師に怒られるからね。家に帰れば動けると思う。帰って一杯やりたい。 <b>2a2</b>
91頁	15行目 (食事摂取欄)	主食・副食とも普通食。右利き。箸を使用。	主食・副食とも普通食。右利き。箸を使用。 <b>晩酌の習慣があった。</b> <b>2a2</b>
91頁	下12行目 (介護力欄)	同居の長男と近隣に住む次女は、受診などの特別などときにはかかわってくれる予定である。 <b>2a1 2a2 3a1</b>	同居の長男と近隣に住む次女は、受診などの特別などときにはかかわってくれる予定である。 <b>2a1 2a2 3a1 3a2</b>
110頁	下1行目 (主訴欄)	自分が意思表示できなくなったら甥に連絡してほしい。	自分が意思表示できなくなったら甥に連絡してほしい。 <b>1a1 1a2</b>
111頁	11行目 (健康状態 病名欄)	筋萎縮性側索硬化症(ALS) <b>1a1</b>	筋萎縮性側索硬化症(ALS) <b>1a1 1a2</b>
112頁	3行目 (社会との関わり欄)	ほぼ自室で過ごし、月2回ほど車いす介助でリビングから庭に出る。	ほぼ自室で過ごし、月2回ほど車いす介助でリビングから庭に出る。 <b>2b1</b>
112頁	7行目 (じよく瘡・皮膚の問題欄)	胃ろう周囲の皮膚は、軽度の発赤があるが出血およびただれはない。	胃ろう周囲の皮膚は、軽度の発赤があるが出血およびただれはない。 <b>1a5</b>
112頁	下9行目 (介護力欄)	いざというときの連絡先は、他県在住の甥。	いざというときの連絡先は、他県在住の甥。 <b>1a2</b>
112頁	下6行目 (居住環境欄)	窓からは、庭が見え日当たりがよい。	窓からは、庭が見え日当たりがよい。 <b>2a2</b>

112頁	下1行目(特別な状況欄)	再度、気管切開と人工呼吸器の装着について説明があり、使用しない場合には、モルヒネを使用し呼吸苦の軽減をはかる方法があることの説明もされた。 1a1	再度、気管切開と人工呼吸器の装着について説明があり、使用しない場合には、モルヒネを使用し呼吸苦の軽減をはかる方法があることの説明もされた。 1a1 <b>1a2</b>
114頁	備考(状況・支援内容等)欄	・日本酒 <b>風味</b> のゼリーをヘルパーがつくる。	・日本酒味のゼリーをヘルパーがつくる。
114頁	備考(状況・支援内容等)欄	・除圧 <b>分散</b> マット使用。	・除圧マット使用。
116頁	援助内容 ※1欄	(吹き出し「特定行為事業者登録をしている訪問介護事業所です」の矢印) 下4行目 (・体位の工夫および介助 訪問介護)と同列の「○」の位置	(吹き出し「特定行為事業者登録をしている訪問介護事業所です」の矢印) 下8行目 (・口腔内吸引・口腔ケア 訪問介護)と同列の「○」の位置まで伸ばす
176頁	下21行目(健康状態病名欄)	平成23年(86歳) アルツハイマー型認知症 内服管理中	平成23年(86歳) アルツハイマー型認知症 内服管理中 <b>4a1</b>
176頁	下18・16行目(健康状態 既往・病歴等欄)	緑内障(75歳、左側があまり見えていない) 心不全があり、受診により各種検査やレントゲンなどを実施したいが、本人に強い拒否があり正確な把握はできない。	緑内障(75歳、左側があまり見えていない) <b>4a1</b> 心不全があり、受診により各種検査やレントゲンなどを実施したいが、本人に強い拒否があり正確な把握はできない。 <b>4a2</b>
177頁	下19行目(社会との関わり欄)	昔からまわりの近所との交流はなく、友人・知人も他界しておりいない。	昔からまわりの近所との交流はなく、友人・知人も他界しておりいない。 <b>2a1</b>
178頁	9行目(問題行動欄)	職員やほかの利用者にも、殴る・蹴る・かみつくなどの行動をとる。 4a1	職員やほかの利用者にも、殴る・蹴る・かみつくなどの行動をとる。 4a1 <b>4a2 4a3</b>
178頁	15行目(介護力欄)	今後も定期的に面接には来たいと協力的である。	今後も定期的に面接には来たいと協力的である。 <b>2a1</b>
188頁	11行目(健康状態 病名欄)	アルツハイマー型認知症 (月1回長女と同行し外来受診。塩酸ドネペジル内服中) <b>2a2</b>	アルツハイマー型認知症 (月1回長女と同行し外来受診。塩酸ドネペジル内服中) <b>2a1 2a2</b>
188頁	24行目(ADL欄)	着衣:一部介助。着脱動作は問題ないが、裏表に着たり順番を間違えたりする。放っておくと同じ服を着続ける。	着衣:一部介助。着脱動作は問題ないが、裏表に着たり順番を間違えたりする。放っておくと同じ服を着続ける。 <b>3a1</b>
189頁	2行目(認知欄)	入居前は長女に対するもの盗られ妄想などもあったが、現在はあらわれていない。	入居前は長女に対するもの盗られ妄想などもあったが、現在はあらわれていない。 <b>2a1</b>
189頁	16行目(排尿・排便欄)	夜間は尿とりパッドを使用中。	夜間は尿とりパッドを使用中。 <b>3a1</b>